

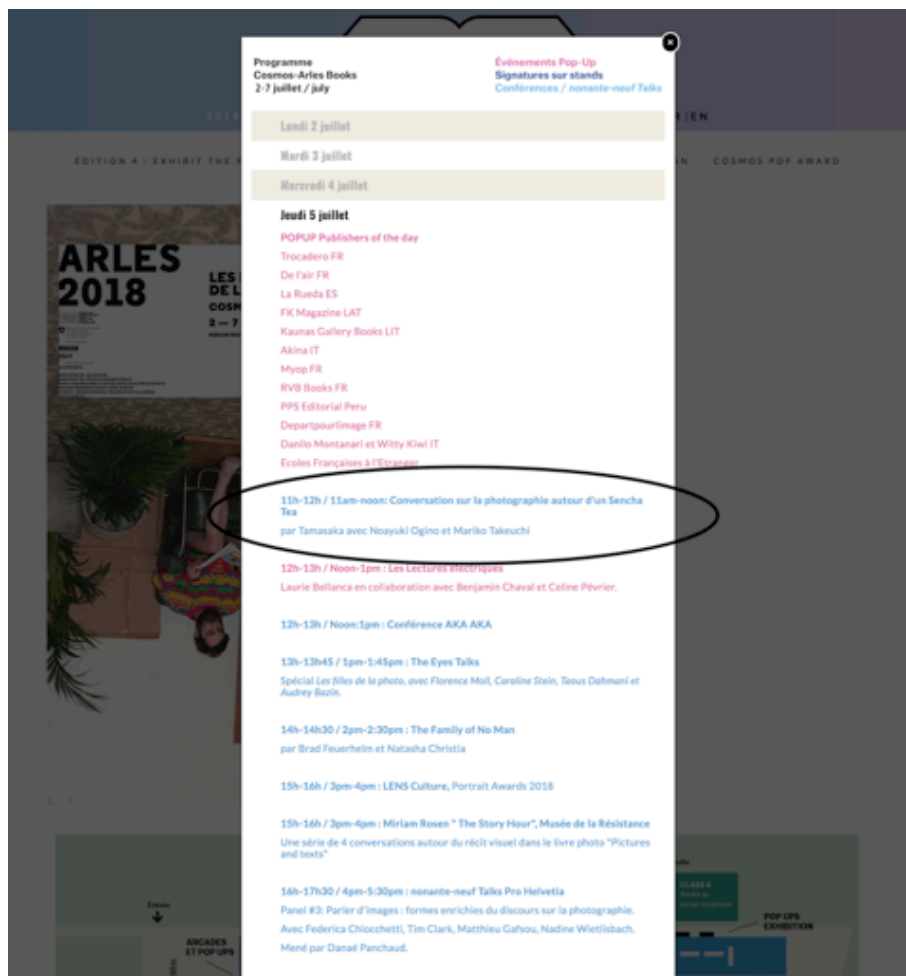
平成 29 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	芸術文化フィールド偶（たまさか）	職名	代表	助成金額	200,000 円
氏名	荻野 NAO 之				
研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）					
芸術文化活動の新たな日本の出会いの場＜偶（たまさか）＞の実践的展開 - 南仏アルル国際写真フェスティバル・ブックフェア Cosmos での実践 -					
助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
この度貴財団から助成をいただき、芸術文化活動の新たな日本の出会いの場＜偶（たまさか）＞を世界的に みても最も歴史を有する写真祭であるアルル国際写真祭（会場は写真祭内会場 Cosmos-Arles Books）およびア ルル国際翻訳センター[ATLAS (Association pour la promotion de la traduction littéraire)]にて開催すること ができました。 会場には、フランスのみならず、さまざまな国の方々にお越しいただきました。そこでは、わたしたちの活 動の企図の通り、掲げた写真作品について多様な議論を交わすことができました。またそれと同時に、盆栽、 水石、煎茶といった日本の文化を世界の方々に知っていただく良い機会となりました。開催した会場のディレ クターである Sebastian Arthur Hau からは、本活動に対する賞賛の声と来年度開催の招待状をいただきました。 以下、会についての詳細を示します。 (1) 実施期間 7月3日、4日、5日 (Cosmos-Arles Books は各日：11 時～12 時、アルル国際翻訳センター[ATLAS]は5日：17 時～19 時) (2) 場所 アルル国際写真祭内会場 Cosmos-Arles Books およびアルル国際翻訳センター (3) メンバー 荻野 NAO 之（写真家）、竹内万里子（批評家）、川崎仁美（盆栽研究家） (4) 実施の様子（写真） ※ 別ページにて (5) 助成金の使用金額及び使途 メンバー渡航費 195000 円 茶代 5000 円					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)		
川崎仁美	現代のことば	京都新聞	2018 年 9 月 6 日		
川崎仁美	偶 COSMOS-ARLES BOOKS	http://urx.blue/U2sX	2018 年 7 月 22 日		
川崎仁美	偶 アルル国際翻訳センター	http://urx.blue/ZGtL	2018 年 7 月 22 日		
偶（たまさか）	TAMASAKA web	http://urx.blue/GsvC	2018 年 8 月		

(4) 実施の様子 (写真)



COSMOS ARLES BOOKS の公式印刷物より (運営側の手違いで6日の金曜日の分が抜けてしまっているが、実施しました)



COSMOS ARLES BOOKS の公式web サイトより



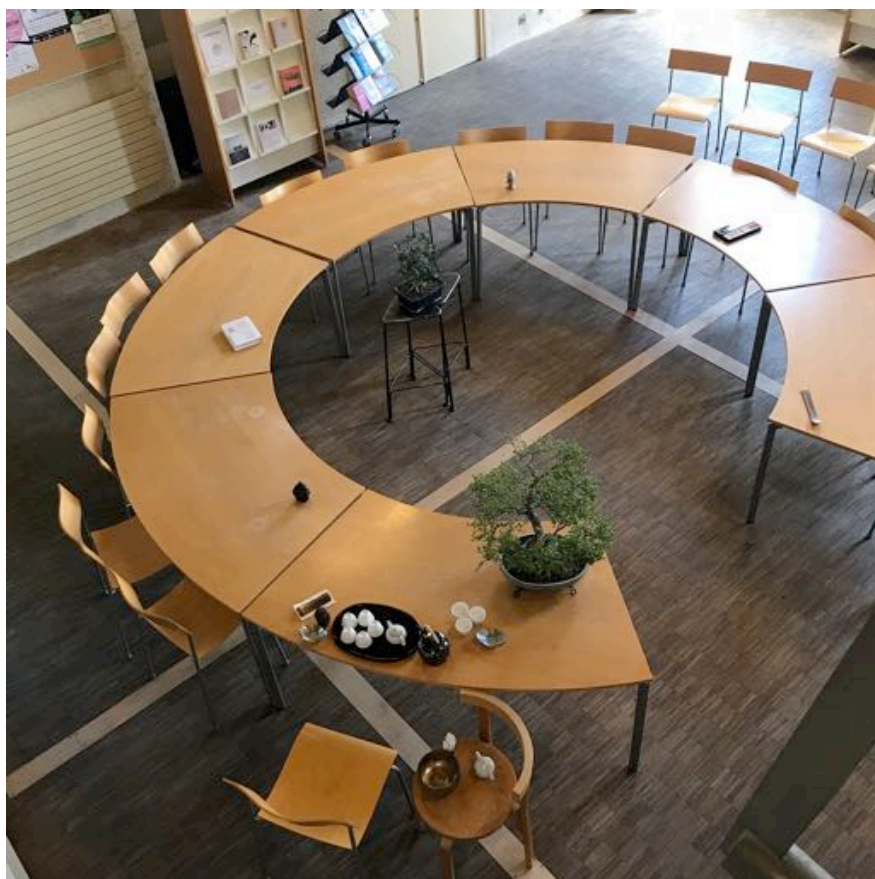
COSMOS ARLES BOOKS での設風景



COSMOS ARLES BOOKS での実施風景



COSMOS ARLES BOOKS での実施風景



ATLAS (Association pour la promotion de la traduction littéraire)での設風景



ATLAS (Association pour la promotion de la traduction littéraire)での実施風景



ATLAS (Association pour la promotion de la traduction littéraire)での実施風景

現代の ことば



かわさき なみ
川崎 仁美

この夏、7月初頭の1週間は南仏アルルに出掛けた。約3カ月に渡って開催されるヨーロッパ最大級の写真展「ヌーヴォー・アルル国際写真展」の会場の一ツで写真や装飾、水石をじっくりと鑑賞する機会に恵まれた。南仏特有の石灰岩の白壁の要塞都市と層層のないうつろと狭い路地裏は感動しつつ、全てが会場に溢れる街を走る。風土に根ざした力のある建築物に感嘆された写真が、ここにある風景を静かに伝え魅力的な空間をつくっている。

たこの手法は昨年目を覚めた「KNOTTOUR」同様、京都国際写真展にもじっくりと鑑賞されているので京都にいる幸せも噛みしめた。楽しみながらも今回のミッションである野外展での装飾、水石をしつらえることで園はいい。その思いが通じたのか、偶然にもアルルで働いた家の大家さんが「KNOTTOUR」愛好家さんで協力してくださることに。庭に並んだ装飾の中から「レザヤキ」とオリファの装飾をお借りした。日本人からすれば大洒落に見える

風 土

のだが、個性のない掛けるような装飾を体感すればすぐに標準が理解できる。おちからでワイルドなプロヴァンス装飾は青空茶席によく映えた。

装飾は育った風土を尊ぶものでもある。なぜならは装飾を叶えるために風土に合った生き方をしなければならぬからだ。「風土を知っていないと装飾はわからない」と気づいた近代から今も原生林や各地の名所、お祭り、名物を食べるワイルドワークに余念がない。そしてその旅の中ではいつも旅人に出会い、民謡の唄つきを聞いてきた。美味しいお米を作られる農家の方に「ペテランです」と言ったら「30歳過ぎ、60歳くらいまで、まともに作れる」とを考えたら顔も作れない、し

かも毎年装飾が壊れるからペテランはないよ」とおっしゃる謙虚な感性には本当に感銘が下った。

風土をキーワードにしている者にとって、今年の夏は色々考えられた。平成30年7月豪雨（熊谷のみならずお見舞い申し上げます）に被災地を巡った度以上の「スーパー台風」という新たな用語も現れ、明治の歴史に記録のなかった気象現象に見舞われた。新築住宅地では開拓により自然災害を暗示する地名などが隠されてしまい、自分の住む土地を知る手掛かりがなくなっている。風土への興味から地形や歴史を知ることは防災にも繋がる。そのヒントになるような装飾も評価していきたいと思う。どの場所も同じ傾向にあると思ふが、展覧

会に観があるといつの間にか顔面と対面が生じてそれが決定してしまふと自分が失速してしまうという焦しい性がある。真レウスによって研ぎ澄まされる芸術家も素晴らしいが、ローカルの熟成された味わい深さも素晴らしい。地域的特色は現地を知らない人々に伝えているのでそこについても解説をしていきたい。

現代は真実もデマも情報過多な上に気候変動と言っても自然災害（台風、地震、火山、天候の影響など）に人災（原発事故、大気汚染物質、異常気象など）が影響しているものが複合的でよく分からない。だからこそ個人で能動的に風土の変化を感じ取って行くことが大切なのだと思ふ。

（装飾作家）



※ キュレーション

偶 COSMOS—ARLES BOOKS アルル国際写真祭2018

2018年7月20日

偶Tamasaka「COSMOS—ARLES BOOKS」アルル国際写真祭2018

約3ヶ月に渡って開催されるヨーロッパ最大級の写真フェスティバル。

コスモス会場で写真、本、ブログヴァンス盆栽、水石、お香をしつらえて煎茶を喫しながらの座談会を行いました。

アルルのBONSAI愛好家マーティンさん、せせらぎ財団さま、ご協力頂きましたみなさま御礼申し上げます。

2018.7/4, 5, 6 11:00~12:00

偶: 萩野 NAO之 (写真) / 竹内万葉子 (批評) / 豆部辰徳 (文学) / 島村幸志 (煎茶) / 川崎仁美 (盆栽水石)

<https://www.cosmosarlesbooks.com/>

3-5 juillet / July 11h-12h / 11am-noon

Conversation sur la photographie autour d'un Sencha Tea par Tamasaka.

Naoyuki Ogino, Mariko Takeuchi, Tatsunori Tanbe, Yukitada Shimamura, Hitomi Kawasaki



CATEGORY

- > イベント (18)
- > キュレーション (3)
- > ブログ・メール (3)
- > メディア (7)
- > 世界のBONSAI (3)
- > 未分類 (6)
- > 水石展 (1)
- > 盆栽グッズ・贈品 (9)
- > 盆栽展 (17)
- > 盆栽美術館 (2)
- > 講演・講座 (14)
- > 資料 (2)

RECENT POSTS

-  2019 大阪天満宮「盆栽と刀剣展」
2019年7月11日
-  第6回 日本の水石展
2019年2月9日
-  明倫茶会 盆栽と林檎の茶会
2019年2月8日
-  小品盆栽「第44回 雅風展」

web へのサイト掲載 (川崎仁美)



※ キュレーション

偶 アルル国際翻訳センター

2018年7月20日

偶Tamasaka アルル国際翻訳センター

ゴッホが入居していた病院跡を利用した総合文化センター内にあるアルル国際翻訳センター図書館。

写真、本、盆栽水石、お香をしつらえて煎茶座談会を行いました。レジデンスで滞在中の翻訳者も招きし。

読書時間にお答えしながら、水石に手を触れて頂く刺激的なお会となりました。

ご縁と通訳でお世話になりましたコリス・アトランさん (翻訳家、小説家)、せせらぎ財団さま御礼申し上げます。

2018.7/5 17:00~19:00

偶: 萩野 NAO之 (写真) / 竹内万葉子 (批評) / 豆部辰徳 (文学) / 島村幸志 (煎茶) / 川崎仁美 (盆栽水石)

Espace Van Gogh, Arles <http://www.atlas-cril.org>



<https://www.oandabonsai.com>

CATEGORY

- > イベント (18)
- > キュレーション (3)
- > ブログ・メール (3)
- > メディア (7)
- > 世界のBONSAI (3)
- > 未分類 (6)
- > 水石展 (1)
- > 盆栽グッズ・贈品 (9)
- > 盆栽展 (17)
- > 盆栽美術館 (2)
- > 講演・講座 (14)
- > 資料 (2)

RECENT POSTS

-  2019 大阪天満宮「盆栽と刀剣展」
2019年7月11日
-  第6回 日本の水石展
2019年2月9日
-  明倫茶会 盆栽と林檎の茶会
2019年2月8日
-  小品盆栽「第44回 雅風展」

web へのサイト掲載 (川崎仁美)

これまでの実績

The field we had



チャットしましょう

偶（たまさか）web サイトへの掲載